



ほけんコーナー



お問い合わせ・お申し込み

健康医療対策課 健康増進係
☎52-2501 内線(1252~1254)

がん検診

がんは、早期発見・早期治療が大切です
症状のないうちに検診を受けましょう

4月より胃がん検診が午前・午後検診となります。

- ・午前検診の注意点は、今まで通りです。
- ・午後検診の場合は、次のことを注意しましょう。

午後検診の注意(平成23年4月より開始。)

- ・朝食は、当日朝7時までに軽めの食事をとって結構です。(受診6時間前に済ませてください。)
- ・朝食では避けた方がよい食品(肉類・貝類・天ぷら・ラーメン・ねり製品・こんにやく・海藻類・きのこ等)
- ・処方薬を飲まれる方は、朝食前後にお飲みください。(朝食前後以外、又は、昼に指定されている方は、主治医にご相談ください。)

各種がん検診予定表を4月初旬に配布します!

～検診の際の留意点について～

持ってくるもの	検診料金について
<ul style="list-style-type: none"> ・健康保険証 ・健康手帳(ある方のみ) 	バス検診で、自己負担の必要な方は、 検査結果と同じ時期に、納付書を送ります ので市内の金融機関(ゆうちょ銀行以外)でお支払いください。医療機関受診の方は、 窓口 でお支払いください。

下記の方は、検診料金の負担はありません

- ・70歳以上の人
- ・江津市国民健康保険加入者(国保が負担します)
- ・生活保護受給世帯に属する人
- ・福祉医療受給者
- ・65～69歳で後期高齢者医療制度加入者

インフルエンザワクチン接種費用の助成事業について(償還払い)

接種対象者で、生活保護受給世帯、住民税非課税世帯に属するひとについて接種費用を全額助成しています。

(償還払いについて)

既に接種したひとや他市町村の医療機関で接種されたひととは、下記の書類等をお持ちの上、市役所健康医療対策課及び桜江支所で4月15日までに手続きをしてください。(助成期限: 3月31日までに接種のひと)

インフルエンザ予防接種済証 領収書
振込み先口座のわかるもの 印鑑

3月の献血

輸血が必要なひとを救うために献血にご協力ください。
400ml献血(全血)が可能なひと(体重50kg以上)

月 日	時 間	会 場
3月17日(木)	9:30～11:00	今井産業株式会社 ～桜江ライオンズクラブ主催～
	13:10～14:20	協同組合 グリーンモール
	15:00～16:00	U M 生コン株式会社

あなたの力をお貸しください。

～登録スタッフ募集～

市では、健康づくり事業や健康診査等のスタッフとしてご協力いただける人材を捜しています。

対 象 保健師・助産師・看護師・歯科衛生士の資格をお持ちの方で登録可能なひと。

詳しくは、お問い合わせください。

☎健康医療対策課健康増進係

52-2501 内線1253

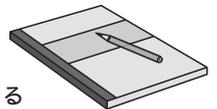


3月1日～8日は女性の健康週間です

女性の体は、女性ホルモンなどの働きによって男性とは異なる体の仕組みを持っています。女性ホルモンの低下は骨粗しょう症や動脈硬化、生活習慣病とも関係があります。女性が生涯を通じて健康で明るく充実した日々を過ごすために生活習慣をチェックしてみましょう。チェックが半分以上ついた人は、市や地域での健康づくりのための教室や相談をぜひご利用ください。

チェック項目

- | | |
|--------------|----------------|
| 満足するまで食べる | 残り物をついつい食べてしまう |
| 野菜が嫌い | 甘い飲み物をよく飲む |
| 間食・夜食が多い | 休肝日がない |
| 炭水化物の重ね食べが多い | |
| 睡眠が不足している | |
| 運動不足である | 喫煙している |



子宮頸がんを知っていますか?

子宮頸がんは、すべての女性に起こりうる病気です。

子宮頸部(子宮の入り口)にできるがんです。子宮頸がんは、発がん性HPV(ヒトパピローマウイルス)の感染によって起こる病気です。発がん性HPVは性交渉によって感染しますが、性交経験のある女性の約80%が一生涯のうちに一度は感染するといわれるほど、ありふれたウイルスです。

女性なら、誰にでも起こりうる病気です。

子宮頸がんを防ぐのに早すぎることはありません。

子宮頸がんは、幅広い年代の女性にみられますが、特に最近では20～30代の女性に急増しています。

もし、子宮頸がんになっても、はじめのうちは自覚症状がないため、自分では気づくことができません。検診を受けていれば、前がん病変から発見することができて、子宮を失うことなく、完治しうる病気です。

20歳になったら、子宮頸がん検診を受けましょう。

子宮頸がんは、立ち向かうことのできる病気です。

子宮頸がんは、子宮頸がん予防ワクチンの接種による発がん性HPVの感染予防と、定期的な検診によって予防することができる病気です。正しい知識を身につけ、自分の身体は自分で守りましょう。

